

魔法使いの嫁 第1期 第6話

タイトル: The Faerie Queene.

キャラリスト:

羽鳥 チセ、エリアス・エインズワース、アリス・スウェーン、ミハイル・レンフレッド、ジェイド・エアリエル (ジェイド)、モリィ、ジャスパー、バーニー、サイモン・カラム、ティターニア、オベロン、スプリガン、ユリシィ

Japanese script from unknown translator (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

レンフレッド 放任だな。

死のうが成功しようが、どちらでもいいということか。

エリアス 死なないし、死なせる気もない。

あれは高かったからね。

レンフレッド 人間にもなれず、精霊にも戻れん穢れた存在が…。

人間を貰うなんて愚かなまねが許されるか？

エリアス 人間至上主義は相変わらずみたいだな？レンフレッド。

なぜお前がチセのことを知っている？

競売会なんてお前は嫌いだろう？

あの会場はあくまで非公式。

会場内での出来事は秘される決まりだ。

それに、こんな思念の固まり、何に利用するっていうんだ。

アリス んっ…。

エリアス なるほど。

アリス んっ…！

エリアス お前その腕、誰に取られた？

アリス あっ…。

エリアス お疲れさま、チセ。

チセ エリアス…。

エリアス 花か…。

ジャスパー 王！

バーニー ご無事で！

エリアス 考えたね。

ジェイド あんたみたいな壊すしか能のないバカじゃないのよん、チセは。

チセ あっ…。

 (考え) ほっとした顔？

レンフレッド 行くぞ、アリス。

アリス 先生…！

エリアス 帰るのか？

 まだ僕は何もしゃべってもらってないけど。

レンフレッド 澱みが消えたなら用はない。

 お前が彼女をどう扱うかも知れた。

 気をつけろ。彼女に興味のあるヤツはごまんというぞ。

チセ うっ…！ あっ…。

 知り合いだったんですね。

エリアス 魔法使い嫌いで有名な魔術師さ。

昔から何かと突っかかってくるヤツなんだよ。

この間見たときには腕があったんだけどね。

アリス あっ...！

エリアス 何かありそうだ。

おっと...。

ジェイド チセ、大丈夫？

エリアス 生産回路の疲労だろう？

寝てていいよ。

チセ すみません...。

エリアス...。

エリアス ん？

チセ 私はいつ死ぬんですか？

エリアス 忘れててくれなかったか？

何もしなければ、3年ぐらいかな。

策は考えてあるから、心配しなくてもいいよ。

チセ どうして言わなかったんですか？

エリアス 言う必要がなかった。

僕の考えでは、君は死なない予定だったから。

チセ 死ないようにする実験ってことですか？

エリアス そうだね。

無尽蔵の魔力の貯蔵庫であるスレイ・ベガをそばに置いたらどうなるか。

チセ でも、エリアスは魔力なんて必要ないはずでしょう？

なんで私を？

エリアス

僕は人間でも、妖精や精霊でもない半端者でね。

永く永く生きて、とてもたくさんの人間を見てきたけれど、やはり僕には、よく分からないんだ
...彼らの...君たちのことが。

考えを理解はできる。でも共感はできない。

君らが泣き、怒り、笑う理由は知れても、自分のものにはできない。

君を買ったのは条件が良かった。

それだけだ。

君が何も持たず、人間でない僕から離れられない子だったから。

君が欲しがらなうなって言葉をかけて、寝床も食事も知識も与えて、気にかけて...

自分で育てたら、何かが分かるんじゃないかと思った。

君が僕から抜け出せなくなったからいろいろと言うつもりではあったんだよ。

チセ

(考え) 何だか不思議だ。

エリアス

レンフレッドのせいで前倒しになったけどね。

チセ

(考え) 表情は変わらないのに...

エリアス

そうだ！この記憶がいらないなら、壊してあげるよ。

チセ

(考え) 目の光だけが子供みたいに見える。

そんなに怖がらなくてもいいんです...

(考え) あなたがいらないと言うまで...

私は...あなたの...そばに...

エリアス

とっ...

バーニー

メスに告白されるなんて、上等なオスじゃねえか！

見直したぜ、魔法使い。

ジャスパー 情けないから放っておけない...の間違いじゃないですかね？

エリアス 初めて...この子から触れられたな。

モリィ 永い旅路を歩いてきたあなたが、望むものを手に入れられそうで、よかったですわ。

エリアス 僕らの家に帰ろうか？チセ。

エリアス 今日はこれだけ？

そうだね。今日こそ目が覚めるといいね。

エリアス 呼吸も鼓動も安定している。

体への直接的なダメージにはまだなっていない。

チセは思ったより、器が大きいかもしれない。

また来たのか？サイモン。

サイモン 心配ぐらいさせてくれ。

ウルタールから戻って2週間も起きないんだ。

エリアス 異常というわけじゃない。

体の機能を最低限に抑えて、失った魔力を補うことに集中しているんだ。

町なかよりも森や水中のほうが回復は早い。

じき目は覚める。

サイモン こんな子供にそんなむちゃをさせたのは感心しないな。

君、まだ隠してることがあるだろ？

エリアス へえ？分かるのか。

サイモン 君の監視役として配属されて10年もたてば、布の下にある骨の顔色くらい分かるさ。

あっ...あっ...！

スプリガン 謳え、謳え、謳え。

さざめけ木々よ、陽を彼の方にあてぬよう。

踊れよ、花草、その香をしるべに迷わぬよう。

謳えよ、家無し鳥、夜の主に、その羽を筆られぬよう。

地に伏し謳え、空仰ぎ謳え、尊き園に頭垂れ謳え。ティル・ナ・ノーグに坐す。旧きゲアラハの御渡りぞ。

ティターニア これはこれは。男の児が2人も迎えとは、気が利くわね。

スプリガン 女王。下賤の者と直接言の葉を交わしては...

ティターニア お前は堅いねえ。

あくまであれは同族なのよ、スプリガン。

スプリガン 肉を持つ者に払う敬意などありませぬ。

サイモン これは...

エリアス あまり口を利かないほうがいい。

彼女は、妖精たちの女王。

ブリテンの夜の一角を統べる者...ティターニア。

ティターニア 名を呼ぶのは、夫のほかではお前くらいよ、ソーン。

エリアス 王はどこに？

ティターニア はしゃいでうるさいから、置いてきたわ。

今日は、お前とお前の雛の顔を見たくてね。

あら？

サイモン あっ...！

ティターニア お前、異国の神を祭る者ね？

神父とかいう祭司だったかしら？

サイモン あ...ああ。

ティターニア そうね。においはとても薄いけれど...。

楽園の果実を墮落の実とした侵略のにおいは、ここにはいない。

お下がり。

サイモン うっ！

エリアス 手荒いですね。

ティターニア 森の中を少しばかりさまようだけ。

蜂蜜酒の時間が終われば帰すわ。

さて、ソーン？お前の妻を紹介してもらえる？うふ。

オベロン うわ～！赤毛だ！

これはいい魔法使いになるよ！フフフッ！

ティターニア オベロン...あなた何をしてるの？

オベロン ん？

あれれ～？見つかった！

ティターニア 隠れる気ないでしょ？あなた。

オベロン アハハハ！

エリアス 妖精王オベロン、それはおもちゃでも人形でもありません。

離れてください。

オベロン なに～？嫉妬？

君もついにそこまで到達したの？

よっと...。

いいね～！男だね！

肉の殻を持つ者、半端者のお前の変化はとってもすてきだ。

影の中から見ているだけだったお前が、人間をそばに置くことで、漂泊の道から外れようとしている。

お前が親かつがいのように振る舞う様はとても面白いよ。

しかし...たった1人のための親切の皮、いつまでもつだろう？

うわっ！

ティターニア 子供をいじめるものではなくてよ、あなた。

オベロン お...うわっ！

ティターニア 今日はこの子のつがいを見に来たのでしょうか？

オベロン ブ～！君は子供に甘いなあ、ティターニア！

ティターニア あいにく、あなたのような悪辣な趣味は、私持ち合わせておりませんの。

オベロン ひっど～い！

スプリガン ハア...。

オベロン 分かったよ。

じゃあ、手っ取り早く、ねぼすけさんを起こそう！

フフッ！

エリアス 魔力を...。

オベロン ああ、やっぱり！

その眼の開かれるときこそ、俺たちのロビンは美しい！

おはよう、鳥の名を血に戴く子。

いい夢は見れたかい？

チセ えっ？

オベロン ウフフフ！

チセ あっ...あの...誰？

エリアス チセ、おはよう。

チセ ハッ...エリアス！

オベロン あっ。

あ〜あ、フラれちゃった！

やっぱり雛の刷り込みって、強いねえ。

ティターニア あなたの性格の悪さを感じたのよ。

チセ あの...。

エリアス しばらく寝てたんだよ。

体は？疲れや痛みはない？

チセ ええと...ないです。

エリアス よし。

チセ あっ...。

ティターニア 驚かせてしまって、ごめんなさいね。

はじめまして。私はティターニア。このアルビオン、ひいてはティル・ナ・ノーグに棲む、妖精たちの女王...。

オベロン 俺はその夫のオベロン！よろしく！

チセ アルビオン？ティル...？

エリアス ブリテン島の古い名前だよ。

ティル・ナ・ノーグはいわゆる妖精の国...。

オベロン ねえ、君！チセだっけ？

こいつのこと怖くな〜い？

大丈夫？無理してな〜い？

チセ はあ…。

 はい、別に…。

オベロン そっか？よかった！

 うんうん、怖くないなら大丈夫。

 で…子供はまだ？

チセ、
エリアス は？

オベロン だって夫婦なんだろう～？

 まだ小さいから無理かな～？

 2人の子ならすばらしい魔法使いになるだろうな！

 子供はかわいいよ。特にね、金髪！イチオシ！

 俺たちはね、金髪がー等お気に入りで！

ティターニア ハア…スプリガン。

スプリガン 行け。

オベロン はあ…。

 いだだだ！いだだだ…！

エリアス 彼はちょっと…かなりだいふ頭が悪いんだ。

 気にしないで。

ティターニア 不出来な夫で、ごめんなさいね。

チセ だ…大丈夫なんですか？

ティターニア 心配いらないわ。喜んでるし。

オベロン ハア…ハア…ダメ…！

チセ (考え) ああ、そういう趣味の人か…。

(考え) 子供...子供っていわゆる...。

エリアス ん？どうかした？

チセ いえ...。

何でも...ないです...。

エリアス？

エリアス いや、今内臓がギュッと...何だろ？

チセ あっ...。

ティターニア (考え) あらあら、まあまあ。

(考え) たまには役に立つのね、この能なしも。

今日はバカもいるし、おいとまするわ。

お話はまたね。

新たな魔法使いの雛に会えてよかった。

いつか遊びに来てちょうだい。

宴を開くわ。

エリアス 帰してくれる気があるのなら行きますよ。

ティターニア フフ...どうかしら？

お前もその子も、夜の世界に連なる者たちは全て、かわいいかわいい私の子供たちですもの。

では、ごきげんよう。

オベロン じゃあね～！

スプリガン 女王はああ言うが、踏み込もうとは夢にも思うな。

肉の殻を持つ半端者が、立ち入れる国ではない。

殻持ちは、災厄しかもたらさん。

エリアス 分かっている。

 こちらから行くことはない。

チセ エリアス？

オベロン お前は妖精以外には厳しいなあ。

スプリガン 殻持ちなど…。

 ヤツのせいで、どれほどの人と霊が失われたか。

オベロン あれは人の犯した罪さ。

 割を食うのはいつだって、人間の影である俺たちだなあ。

 よっと！

 さて、あの2人がうまくいくか、賭けないかい？ティターニア。

ティターニア それよりも、何人できるか賭けたほうが建設的だわ。

オベロン う～ん！ 違いな～い！ フフフッ！

サイモン ぶはっ！

 ハア… やっと森を抜けた！

 ハア… 妖精の術はやっかいだな…。

チセ サイモンさん。

サイモン チセ君！

 やっと目が覚めたかい？

 心配したんだ。

チセ すみません。

サイモン うんうん。

 と… マズいな。うちのシスターに怒られる時間だ。

帰るよ。

ハア...君のとこの食事のご相伴にあずかれないのが残念だ。

エリアス お前本当に僕の監視役なんだよな？

サイモン 冗談だよ。

フフッ！では、チセ君、無理をしないようにね。うんうん。

チセ いい人ですね。

エリアス あれは間が抜けてるって言うんだよ。

10年ずっと変わりやしない。

チセ 10年...

10年前に、エリアスに買われてたらよかったのに...

エリアス これから...10年じゃきかない時を過ごすのに？

チセ あなたの実験が成功したらいいですけど...

エリアス するよ。

チセ あっ...

しますかね。

エリアス させるんだよ。

さあ、銀の君が待ってる。

帰ろう。

チセ これは？

エリアス 時期外れだけど、クリスマスプディングだね。

君が戻った日から寝かしてあったんだってさ。

チセ

おいしい。

ユリシィ

イザベル…。